

JAMS

The Japanese Academy of Malodor Syndrome

日本口臭学会 ■第4回学術大会■

プログラム・抄録集

テーマ 口臭への対応；基礎から臨床まで

会 期 ◆ 2013年 7月13日(土)・14日(日)

会 場 ◆ 鶴見大学会館 (2階サブホール)

大会長 ◆ 前田 伸子 鶴見大学歯学部・口腔微生物学講座



会員 各位

第4回日本口臭学会学術大会総会 開催通知

平成25年6月吉日

日本口臭学会 会長 角田 正健

平素は、本学会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度は、日本口臭学会として4回目の学術大会となります。会期中の7月14日(日)10:45～11:30に日本口臭学会総会を開催致します。

主な報告・協議事項は下記の通りであります。特に日本口臭学会認定制度の発足を予定しておりますので、会員の方々には慎重審議頂きたく、ぜひご出席下さいますようご案内申し上げます。

《第4回学術大会総会議事》

報告事項

- 平成24年度庶務報告
- 各委員会報告
- 次期学術大会長(平成26年度)
- 平成24年度会計決算報告ならびに監査報告

協議事項

- 平成24年度庶務・会計決算の承認
- 平成25年度事業計画案
- 平成25年度予算案
- 認定制度の施行について
- 理事・評議員の推薦について
- 名誉会員の推戴について
- その他



日本口臭学会

■ 第4回学術大会 ■

プログラム・抄録集

テーマ 口臭への対応；基礎から臨床まで

会 期 ◆ 2013年 7月13日(土)・14日(日)

会 場 ◆ 鶴見大学会館 (2階サブホール)

大会長 ◆ 前田 伸子 鶴見大学歯学部・口腔微生物学講座

後 援：神奈川県歯科医師会

日本口臭学会第4回学術大会事務局

鶴見大学歯学部附属病院 口腔機能診療科

準備委員長：中川 洋一

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL: 045-580-8559

FAX: 045-574-8687 (秘書室)

E-mail: nakagawa-y@tsurumi-u.ac.jp

INDEX

ご 挨 拶	1
参加者へのご案内	2
会場へのご案内	3
フロアマップ	4
企 業 展 示	5
日 程 表	6
プログラム	7
抄 録	11
開 催 一 覧	52
協賛企業一覧	53

ご 挨拶



大会長 前田 伸子

鶴見大学 歯学部 口腔微生物学講座

会員の皆さま、平素より当学会の運営にご協力とご厚情賜り、改めまして心より御礼申し上げます。この度、第4回日本口臭学会学術大会を横浜鶴見の地で開催させていただく運びとなりました。

私どもは今回の学術大会のテーマを「口臭への対応；基礎から臨床まで」とし、基礎、臨床の分野でご活躍の先生方を特別講演と教育講演にお招きしました。特別講演「生体ガス分析の臨床応用の現状」では東邦大学医療センター大森病院の瓜田純久先生に呼気ガスの臨床研究の集大成をご講演いただきます。

また、教育講演は東北大学大学院歯学研究科の高橋信博先生に「口腔生態系から見た口臭～生化学的、生態学的アプローチ」と題して、基礎的な立場から口腔生態系における口臭発生のメカニズムを、医療法人社団みき会理事長 久保伸夫先生には「感覚障害としての口臭症」と題した臨床の現場に即したご講演をお願いしました。さらに、「口腔粘膜疾患・ドライマウス・歯周病」と題したワークショップを企画し、口臭と深く関わる口腔内のさまざまな症状をそれぞれ第一線で取り組んでおられる講師から詳細にご説明していただく予定です。口臭と関連する口腔の多種多様な病態、そして口腔と全身の健康状態との関係を知るまたとない機会ですので、ぜひご参加いただければと考えております。

何分不慣れではありますが、私ども一同総力を挙げて、準備万端整えまして皆さまをお迎えいたします。どうぞ、お誘い合わせのうえ、鶴見までお出まし頂き、熱い議論を交わしていただければと思います。

参加者へのご案内

学会参加の皆さまへ

参加費の前納はありません。当日お支払いください。

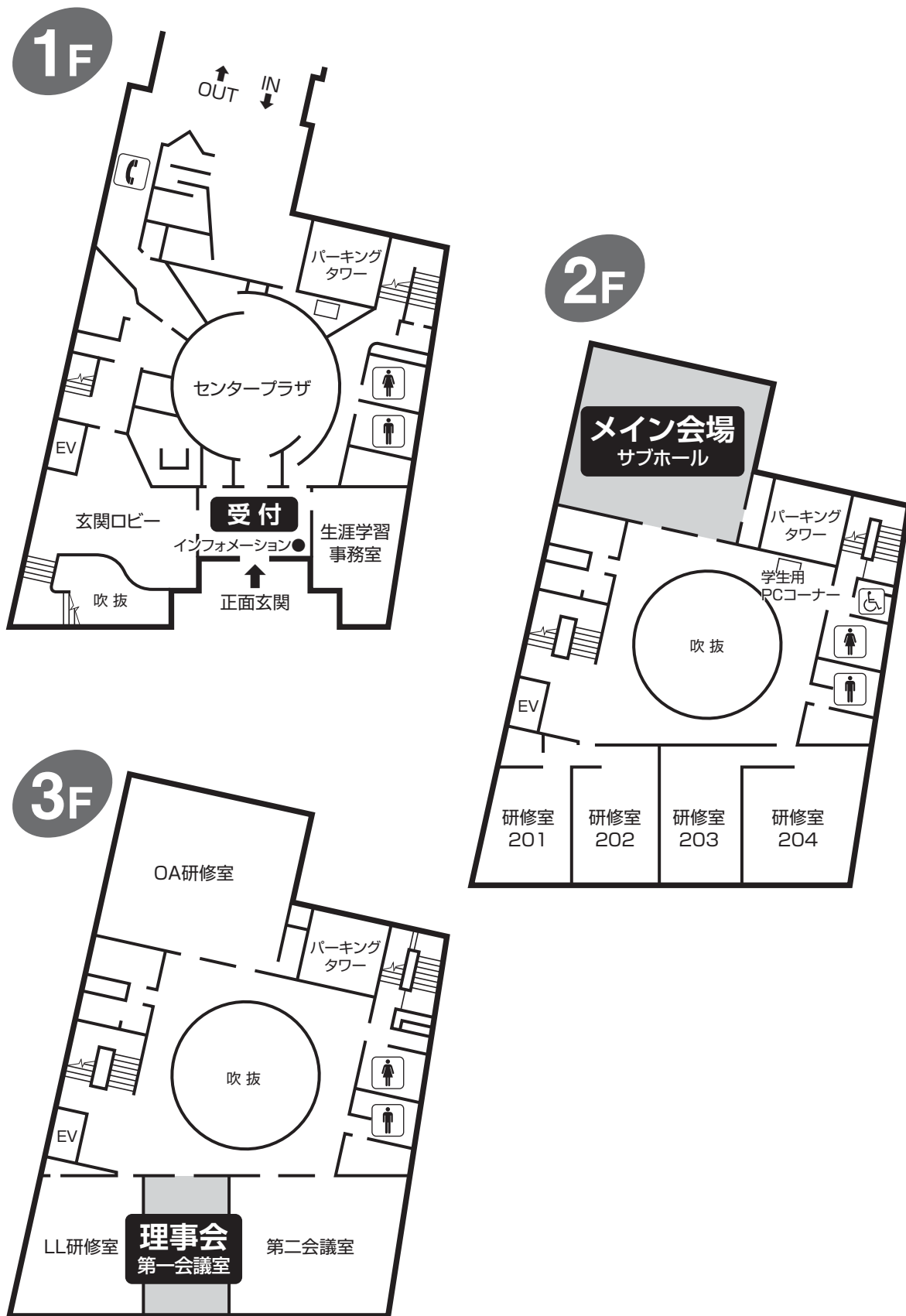
参 加 費	10,000円(会員、非会員共通／懇親会費含む)
コメディカル参加費	2,000円(懇親会費別途)
学 生	無 料

一般口演発表者の方へ

1. 発表は、講演8分、質疑応答2分の合計10分です。
2. 当該セッション開始5分前までに次演者席にお着き下さい。
3. 各演者の発表時間はプログラムをご覧ください。
4. 発表機材について
 - 1) 口演は事務局で用意したPC(Windows)で行います。
 - OS … Windows 7
 - アプリケーションソフト … Microsoft Power Point 2010 (Windows 版)
 - 2) 発表ファイルはUSB メモリに下記の様式で保存してご用意ください。
 - ファイル名は「演題番号・氏名」として下さい。
 - フォントは文字化けを防ぐため下記のフォントに限定いたします。
日本語 … MS ゴシック、MS P ゴシック、MS 明朝、MS P 明朝
英 語 … Century, Century Gothic, Arial, Times New Roman
 - 3) ノート PC をお持込の場合(特別な場合以外、できるだけ避けてください)
 - AC アダプターを必ずご用意ください。
 - 会場でご用意する映像ケーブルは「D-sub15 ピンケーブル」です。
 - PC の映像出力端子が特殊な形状の場合は、D-sub15 ピンケーブルと接続できる形状に変換するコネクタを必ずご自身でお持ちください。
 - 動画データをご使用の場合はご自身のノート PC をお使い下さい。
 - PC トラブルの際など、事務局にて用意したPC(Windows)にて対応いたします。
ファイル様式につきましては、上記をご参照ください。
5. PC 受付について
 - 1) 発表ファイルは受付に提出していただきます。
 - 発表のセッション(一般演題1～3のそれぞれのセッション)が始まる前までに、PC 受付にてお名前と演題番号をお伝えのうえ、ファイルを提出ください。13日の一般演題2の先生も、可能であれば、一般演題1のセッションの前にご提出ください。
 - 口演終了後ファイルは消去します。
 - ノート PC をお持込の場合はお申し出ください。
 - 2) 事前に発表ファイルを郵送していただいても結構です。
 - USB メモリまたはCD-R を事務局までお送りください。

フロアマップ

鶴見大学会館



企業展示



	ブース番号
シクロケム	1
トラストメディカル	2
エフアイエス株式会社	3
ピーエムジェー	4
ティー&ケー	5
昭和薬品化工	6
ビーブランド	7
株式会社エクセレントプレス	8
長瀬産業	9
株式会社タイヨウ	10
コムネット	11

日 程 表

1日目 7月13日(土)

	メイン会場(サブホール)	第一会議室
9:00		
10:00		10:00 ～12:00
11:00		理 事 会
12:00	【韓国における口臭治療】P-01～03 座長：本田 俊一(医療法人ほんだ歯科)	
13:00	12:50～13:00 開会の辞 13:00～14:00 教育講演 1 口腔生態系から見た口臭 ～生化学的、生態学的アプローチ～ 演者：高橋 信博(東北大学大学院) 座長：前田 伸子(鶴見大学)	
14:00	14:10～15:10 一般演題 1 O-01～06 【口臭の診断】 座長：王 宝禮(大阪歯科大学) 中井 利江子(アイ歯科)	
15:00	15:10～16:10 一般演題 2 O-07～12 【口臭への対処】 座長：森田 学(岡山大学大学院) 津野 敬一朗(つの歯科医院)	
16:00	16:20～17:40 特別講演 生体ガス分析の臨床応用の現状 演者：瓜田 純久(東邦大学) 座長：中川 洋一(鶴見大学)	
17:00		
18:00	17:50～ 懇 親 会 会場：記念館	

2日目 7月14日(日)

	メイン会場(サブホール)
9:00	9:00～10:40 ワークショップ
10:00	【口腔粘膜疾患・ドライマウス・歯周病】 演者：上川 善昭(鹿児島大学) 金川 昭啓(山口県立総合医療センター) 中川 洋一(鶴見大学) 内藤 徹(福岡歯科大学) 座長：福田 光男(愛知学院大学) 亀山 敦史(東京歯科大学)
11:00	10:45～11:30 総 会
12:00	11:30～11:45 ポスターセッション
13:00	11:50～12:40 ランチョンセミナー 口腔生理機能のホメオスタシスと 口臭の関係について
14:00	12:50～13:50 一般演題 3 O-13～18 【口臭と心理】 座長：角田 博之(慶應義塾大学) 稲葉 大輔(岩手医科大学)
15:00	14:00～15:00 アフタヌーンセミナー 機能的食品素材による口臭抑制 演者：今井 奨(鶴見大学) 座長：内藤 徹(福岡歯科大学)
16:00	15:00～16:00 教育講演 2 感覚障害としての口臭症 演者：久保 伸夫(医療法人社団みき会) 座長：角田 正健(東京歯科大学 千葉病院)
17:00	16:00～ 閉会の辞
18:00	

プログラム

第1日目 7月13日(土)

開会の辞 12:50～13:00

教育講演1 13:00～14:00

座長：前田 伸子（鶴見大学歯学部 口腔微生物学講座）

口腔生態系から見た口臭 ～生化学的、生態学的アプローチ～

高橋 信博（東北大学大学院 歯学研究科口腔生化学分野）

一般演題1 14:10～15:10

[口臭の診断]

座長：王 宝禮（大阪歯科大学歯科医学教育開発室）
中井利江子（アイ歯科）

0-01 岡山大学病院口臭外来初診患者の実態調査

森田 学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 予防歯科学分野

0-02 臨床実習期間中における「口臭に関する講義および実習」の教育効果

石塚 洋一 東京歯科大学 衛生学講座

0-03 Oral health indicators associated with perceived oral malodor in Korean young male.

Byoung Jin Lee Department of Preventive and Public Health Dentistry,
School of Dentistry, Chosun University

0-04 口臭の東洋医学的分類とその対応

津野敬一郎 つの歯科医院

0-05 東洋医学と漢方から見た、体質別の口臭症の分類について

中城 基雄 中城歯科医院

0-06 コーヒー飲用が口臭に与える影響

樋口 均也 医療法人慶生会 ひぐち歯科クリニック

一般演題2 15:10～16:10

[口臭への対処]

座長：森田 学（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 予防歯科学分野）
津野敬一郎（つの歯科医院）

0-07 効果的な舌清掃を行うための舌清掃器具についての検討

大森みさき 日本歯科大学 新潟病院 総合診療科

0-08 口臭関連細菌に対するヒノキチオール抗菌作用と
ヒノキチオール配合ジェルによる口腔ケアの口臭改善効果

藤本 暁江 福岡歯科大学 総合歯科学講座 総合歯科学分野

0-09 マヌカハニー製剤による抗菌・口臭抑制効果

上野 千裕 株式会社シクロケムバイオ

0-10 オキシ塩化ビスマスによる口臭原因物質揮発性硫黄化合物の抑制効果

王 宝禮 大阪歯科大学 歯科医学教育開発室

0-11 歯周病に起因する口臭の予防・治療素材の探索研究
— 当帰と川芎について —

安楽 拓哉 近畿大学薬学部 薬用資源学研究室

0-12 食品及び飲料摂取による唾液 pH の変化と口臭ガス発生について、
飲食後の手入れ方法による違い

中井利江子 アイ歯科

特別講演 16:20～17:40

座長：中川 洋一（鶴見大学歯学部・口腔機能診療科）

生体ガス分析の臨床応用の現状

瓜田 純久（東邦大学 総合診療・救急医学講座）

懇親会 17:50～ 於：記念館

第2日目 7月14日(日)

ワークショップ 9:00～10:40

[口腔粘膜疾患・ドライマウス・歯周病] 座長：福田 光男（愛知学院大学 歯周病学講座）
亀山 敦史（東京歯科大学千葉病院 総合診療科）

日常臨床での口腔粘膜疾患への対処 ～意外に多いカンジダの関与～

上川 善昭 鹿児島大学歯学部・口腔外科

周術期口腔機能管理に必要な口腔粘膜疾患の知識

金川 昭啓 山口県立総合医療センター 歯科口腔外科

ドライマウスへの対処

中川 洋一 鶴見大学歯学部・口腔機能診療科

歯周病と口臭の関連

内藤 徹 福岡歯科大学 総合歯科学講座 高齢者歯科学分野

質問・討論

総 会 10:45～11:30

ポスターセッション 11:30～11:45

[韓国における口臭治療] 座長：本田 俊一（医療法人ほんだ歯科）

P-01 曹 榮壽 檀国大学校 歯科大学 予防歯科

P-02 尹 美恵 檀国大学校 歯科大学 予防歯科

P-03 嚴 嚴嬉 檀国大学校 歯科大学 予防歯科

ランチョンセミナー 11:50～12:40

座長：松田 秀秋（近畿大学薬学部 薬用資源学研究室）

口腔生理機能のホメオスタシスと口臭の関係について

本田 俊一（医療法人ほんだ歯科）

抄 録



感覚障害としての口臭症

久保 伸夫

医療法人みき会サンフィールドクリニック 理事長

歯科的にも耳鼻科的にも問題がなく、官能検査で臭気を感じず、揮発性窒素酸化物も測定できない自覚的口臭症の大半は緊張性口臭あるいは機能性口臭と考えている。舌が口蓋に接触する位置で閉口すると口腔内の酸素は少なく、口腔後方も軟口蓋が舌と接し咽頭腔と口腔を遮断するため、十数分の閉口で口腔内では嫌気性菌が揮発性窒素酸化物を発生し、唾液嚥下時に軟口蓋が挙上すると瞬間的に嫌気性ガスは咽頭から鼻腔に達し、口臭として感覚することが緊張性口臭のメカニズムである。この臭気ガスはいったん開口し、好気環境になると口腔呼気からは消失し、オドメーターでも検知できない。口腔と遮断された状態の咽頭は鼻呼吸により常に好気環境にあるが、扁桃陰窩深部は嫌気環境にあり嫌気性菌が常在している。ここに起源する臭気ガスも後鼻口から鼻腔に達し、器質的な緊張性口臭と自覚される。大腸も絶対嫌気環境にあり、嫌気性ガスは産生され放屁されるが、消化器内を臭気ガスが逆流することは腸閉塞時以外にはない。このように、自覚的口臭症患者は実際に口臭を自覚しているのである。

口臭症患者の大半は知的で認知機能に問題もなく心因的背景はない。他覚的に認知できないのは我々の技術的問題に過ぎない。にもかかわらず実際に口臭を感覚している彼らに口臭がないから安心しろと言え言えほど、彼らは混乱し、自分自身に精神的に問題があるのではないかと自身を追いつめる。心因は我々が作っている。

感覚障害と精神障害は異なる。中枢高次機能が正常だからこそこる感覚障害が多い。めまいも耳鳴りも嗅覚過敏もしびれも咽喉頭異常感もこれに含まれる。感覚障害には、難聴や失明、味覚低下などの感覚低下疾患と感覚錯乱疾患があるが、上述の疾患は感覚錯乱に属する。感覚錯乱は過剰あるいは過敏な感覚受容と考えられてるが、その原因は正座の足のしびれのように A δ や c fiber 感覚神経に対する抑制系神経回路の機能低下である。掻痒に対する掻把行動は、無髄 C fiber による感覚刺激をより太い有髄性抑制線維を刺激することで、かゆみを止めている。レビー小体型認知症やパーキンソン病など認知症に伴う障害とは機序が異なり、認知療法による治療対象となる。感覚障害に対する認知療法は、患者の訴えに対する受容、共感、認知、支援というプロセスを必要とする。

口腔咽頭疾患や口腔咽頭症状を理解する上で重要なことは、口臭も咽喉頭異常感も舌痛症も睡眠時無呼吸もバーキズムも閉口状態あるいは睡眠時での症状であり、口を開けさせて診断してもわからない。開口時と閉口時、睡眠時と覚醒時、座位と仰臥位では咬合、舌や軟口蓋の位置関係は異なる。上記のように開口時呼気では検出できない検査もある。覚醒時と睡眠時、あるいは座位と仰臥位で経鼻的内視鏡検査を行い、咽頭側から閉口時の口腔を観察することは多くの情報が得られる。呼気ガス測定も経鼻的にカニューレを挿入し部位を変えて採取する必要がある。

本院における口臭治療システム (口臭を訴える矯正患者の症例報告)

Evaluation of bad breath treatment in a dental clinic

○山内 恵美¹⁾、渡辺 孝夫²⁾、本田 俊一³⁾、樋口 均也⁴⁾

1) 厚生歯科、2) 医療法人ほんだ歯科、3) 藤田保健衛生大学医学部細菌学教室、
4) 医療法人慶生会ひぐち歯科クリニック

【緒言】ほんだ式口臭治療は身体的および精神的問題で起きる口臭症の治療に優れていると考えられる。当医院ではこの治療法を7年間行っている。そこで本治療が有効であるかどうか20人の口臭症患者について検討した。

【対象と方法】

対象患者20人：7人(女性)、13人(男性)

平均年齢：40.2歳(24歳～58歳)

対象患者の治療時期(2006～2012年)

口臭検査項目(検査は治療前と治療1ヶ月後に行った)：

1. 口腔内と呼気の口臭測定(BB チェッカー：(株)タイヨウ)
2. 嫌気性菌レベルの測定(アテイン：(株)タイヨウ)
3. 唾液検査
4. 官能検査
5. 検尿
6. 舌診
7. 食生活調査

治療内容：

1. 食生活指導
2. 歯ブラシ指導
3. オーラルケア指導
4. 生活指導
5. ClO₂(二酸化塩素)リンス使用指導
6. 口臭症に対する精神的サポートケア

【結果】

1. 多くの患者の口臭の訴えが減少した。

2. 口腔内口臭については治療前42.35、治療後34.65(0～100)だった。
3. 呼気口臭については治療前49.35、治療後44.15(0～100)だった。
4. 嫌気性菌レベルは治療前31.1、治療後23.45(0～150ppm)だった。
5. 官能検査では治療前4.0、治療後2.8(1～5、1：無臭、2：かすかに臭う、3：臭う、4：よく臭う、5：強く臭う)だった。
6. 精神的な改善度の確認では1名の患者は心療内科に紹介し口臭治療と並行して治療している。18名の患者は治療効果に満足を示した。1名の患者は治療効果に満足を示さなかった。

【症例報告】10歳5カ月、男

初診時：2010年2月

主訴(母親)：口臭と不正咬合

口腔内所見：永久歯歯列、上顎叢生、舌癖、舌小帯短縮症、側方開咬

その他の所見：アレルギー性鼻炎

治療方法と経過：矯正治療時に鼻炎の治療(耳鼻科への通院)、舌小帯短縮症治療、舌癖の改善、3DS(Dental Drug Delivery System - ウ蝕菌集中治療)、ほんだ式口臭治療

【考察と結論】ほんだ式口臭治療は口臭の原因に基づいて行われている。そしてこの方法は身体的改善のみならず患者の精神的な面をサポートされることでも良い結果が得られると考えられる。

JAMS 日本口臭学会学術大会 開 催 一 覧

	開 催 日	開催場所	大 会 長	テーマ
第1回	2010年 7月10～11日	血協記念ホール (東京・水道橋)	角田 正健 (東京歯科大学千葉病院総合診療科)	口臭患者さんを 理解するために
第2回	2011年 7月9～10日	京都国際交流会館 (京都・蹴上)	久保 伸夫 (大阪歯科大学 耳鼻咽喉科)	口臭を科学する
第3回	2012年 7月7～8日	北里講堂 (東京・信濃町)	角田 博之 (慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科)	口臭を心と体からみる
第4回	2013年 7月13～14日	鶴見大学会館 (神奈川・横浜)	前田 伸子 (鶴見大学歯学部・口腔微生物学講座)	口臭への対応； 基礎から臨床まで

第4回 日本口臭学会学術大会 プログラム・抄録集

発行日：平成25年6月20日

事務局：鶴見大学歯学部附属病院 口腔機能診療科

準備委員長：中川 洋一

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL：045-580-8559 FAX：045-574-8687

E-mail：nakagawa-y@tsurumi-u.ac.jp

出版：(株)セカンド
 学会サポート 株式会社セカンド
<http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



第4回日本口臭学会学術大会 事務局

**鶴見大学歯学部附属病院
口腔機能診療科**

準備委員長：中川 洋一

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL: 045-580-8559

FAX: 045-574-8687

E-mail: nakagawa-y@tsurumi-u.ac.jp